

古文 品詞分解（動詞・助動詞） 「枕草子」 はしたなきものゝ 問題

はしたなきもの。異人を^①呼ぶに、われぞと^②さし出で^アたる。物など^③取らするをりはいと

ど。おのづから人の上など^④打ち言ひ^⑤そしり^ィたるに、幼き子どもの^⑥聞き取りて、その人の

^⑦あるに^⑧言ひ出で^ウたる。あはれなることなど、人の^⑨言ひ出で、^⑩うち泣きなど^⑪するに、

げにいとあはれなりなど^⑫聞きながら、涙のつと^⑬出で来^エぬ、いとはしたなし。泣き顔

^⑭つくり、気色異に^⑮なせど、いとかひなし。めでたきことを^⑯見聞くには、まづただ

^⑰出で来にぞ^⑱出で来る。

古文 品詞分解（動詞・助動詞）「枕草子」はしたなきものゝ 解答

はしたなきもの。異人を^①呼ぶに、われぞと^②さし出で^アたる。物など^③取らするをりはいと

バ四体

ダ下二用 完了

サ下二体

ど。おのづから人の上など^④打ち言ひ^⑤そしり^イたるに、幼き子どもの^⑥聞き取りて、その人の

ラ変体

ダ下二用

完了

ダ下二用

カ四用

サ変体

^⑦あるに^⑧言ひ出で^ウたる。あはれなることなど、人の^⑨言ひ出で、^⑩うち泣きなど^⑪するに、

カ四用

ラ四用

打消

げにいとあはれなりなど^⑫聞きながら、涙のつと^⑬出で来^エぬ、いとはしたなし。泣き顔

ラ四用

サ四已

カ四体

^⑭つくり、気色異に^⑮なせど、いとかひなし。めでたきことを^⑯見聞くには、まづただ

カ変体

カ変体

^⑰出で来にぞ^⑱出で来る。